

GLOBAL 人間

global を辞書で引いてみた。球状のとか球形のなどの意味がある。また、全世界の、世界的な (worldwide)、地球上の、国際的な、全体的な、包括的ななどの意味がある。学校教育の目標を人格形成あるいは人間形成という事がいわれているが、まさに、グローバルな人間形成を目指してほしいものだ。

国際的視野を持っている人間をグローバル人間という。社会情勢を知る、あるいは知った上で物事を考察し、判断する。そして行動する。これが大切である。日本のマスメディアは視聴者のニーズに応じて、また視聴率をとるために皆が興味を持っていることに関しては何時間も費やして事細かく報道している。これでは、まったく「井の中のかわず」である。やはり、今だからグローバルな存在としての役割を日本人が背負うべきである。日本経済、日本教育などを考えてみても日本はどんどん他の国ぐにに抜かれていく。これでは日本人のほとんどが世界の人々に遅れをとり、違う考え、思考、違う行動をとってしまう。

もっと、普段から物事を国際的に捉えていかないといざとなった時、正しい判断とか正しい行動がとれないであろう。常に国際的視野を持つことが必要であろう。そして、コミュニケーションである。

国際的コミュニケーション。つまり、英語で自分の考えを伝えあうこと、これができるならば日本はまだまだ世界に取り残されないであろう。それができないから日本は後手後手にまわってしまう。そして、国際ルールが変更になって日本の選手が不利な格好になってもそれはではもう遅い。コミュニケーションを互いにとっていけば国際的に先手を取れることだってある。まあ、そういう利害関係はなしとしても今後日本がもっと世界の中で一役を担っていくとすればグローバル人間であることがあげられる。

(2010, 12・17)